

# 労福協たより

2020年11月

特別号  
発行責任者  
小林 純一

## 55周年記念行事 “Share Happiness” 特集

2020年11月15日（日）、秋晴れの清々しい陽気の中「芝川B&G海洋センター」にて、**富士宮地区労福協55周年記念行事「Share Happiness」**を開催しました。冒頭の小林会長挨拶でも触れられましたが、**「コロナ禍であるからこそ共助の精神を大切に、労福協らしい温かいイベントを実施する」**ことを目指しました。今回の「労福協たより」は丸ごと55周年特集です！



### 開催までの道のり～Road to 55th～

記念行事の企画は2019年に始動し、当初より「労福協らしいイベントを、**地区内で開催し地元へ貢献する**」、「**次代の労福協活動を支える若者が中心となって行事を組み立てる**」、「**手作りの温かみあるイベントとし企画側、来場者ともに楽しめるものを目指す**」という目標を掲げていました。



目標達成に向け、労福協

“**若者の会**”（労福協幹事会員中心に輩出いただいた20～30代の代表者）を企画・運営の中心としてイベントづくりを進めることが決定していましたが、折からのコロナショックでキックオフは大幅に遅れた6月1日。小林会長からの**「若者らしい自由な感性で、一からイベントづくりを楽しんで欲しい」**との激励を受けると、そこからはフルスロットル。8回の会議と2回の会場装飾等の制作作業を経て、5ヵ月半で実現にたどりつきました。



“**若者の会**”（労福協幹事会員中心に輩出いただいた20～30代の代表者）を企画・運営の中心としてイベントづくりを進めることが決定していましたが、折からのコロナショックでキックオフは大幅に遅れた6月1日。小林会長からの**「若者らしい自由な感性で、一からイベントづくりを楽しんで欲しい」**との激励を受けると、そこからはフルスロットル。8回の会議と2回の会場装飾等の制作作業を経て、5ヵ月半で実現にたどりつきました。

### オープニング

コロナ禍もあり**「本当に来場していただけるのだろうか…？」**というスタッフの不安は的を外れ、開場前にも関わらず多くのお客様、子供たちの顔がありました。

オープニングアクトでは、書道家の**宮久保胡蝶さん**（富士市で活躍中）による**書道パフォーマンス**。

特大のキャンバスに文字が綴られはじめると、大人も子供も視線は釘付けとなりました。やがて本イベントのサブテーマでもある**“働く仲間との絆”**にちなんだ**「絆」**の文字が力強く記されると、イベントは華やかにスタートしました。



音響トラブルに見舞われたものの工夫と機転で何とか解決し、次なる**チアーズファクトリー**（富士市）による**キッズダンス**では、かわいいダンスとパフォーマンスで会場を熱く盛り上げてくれました。



### 自然と触れ合う森エリア

メインエリアとは別に、**子供が自然と触れ合いながらのびのびと遊べる森エリア**を準備。自然の素材を活かした竹ブランコや竹ジャングルジムで元気に遊ぶ子供たちの姿のほか、青空卓球やスラックライン（綱渡り）では、子供に交じって大人も楽しんでいただけました。





## Only One キッズ運動会

イベント会場は運動施設でもあるため、運動会企画も組み入れましたが、55周年行事ならではのすべく、ここだけのオリジナル競技、「松ぼっくり玉入れ」と「紙飛行機競争」を開催。子供たちは初めて見る運動会でしたが、松ぼっくりのコントロールや飛ばない紙飛行機に悪戦苦闘しながらも、楽しく挑戦してくれました。



## 富士ハーネス盲導犬パフォーマンス

富士宮地区で盲導犬の育成事業をされている、**富士ハーネス**（富士宮市）さんにも参加いただき、**盲導犬のパフォーマンス**を披露いただきました。訓練された盲導犬ファイン君は、指示に従い正しくパートナーを誘導してくれます。コロナ禍で、みなさんと直接触れ合えなかったことが、ファイン君もちよっぴり残念だったようです。

会場内では盲導犬育成事業の募金活動も行い、多くの皆様から善意をいただきました。ありがとうございました。



## 地元再発見 おいしいグルメ

地元貢献もメインテーマですので「**地元の美味しいお店をみんなに知ってもらおう**」という企画のもと、6軒の美味しいお店に出店いただきました。山の恵みジビエドックや美味しいデザートなど、みなさん目移りしながらも、お目当ての商品をゲットし、味わっていただくことができました。ぜひ、実際の店舗等にも足を運んでみてください。さらに美味しいグルメに出会えるかもしれませんよ。



## お楽しみ大抽選会

イベントを満喫いただいたお客様には、最後に大きなお楽しみ、豪華賞品が当たる大抽選会を開催しました。**労福協会員のご協力により、市内の企業等からご提供いただいたうれしい製品やギフトカードなどが賞品として並びます。**飯室事務局長より当選番号が発表されるたびに、満面の笑顔と悔しい顔が交錯しました。残念賞ではお菓子の詰め合わせをみなさんにお配りしましたが、トりにふさわしく大いに盛り上がりました。



## 祭りのあと ～Go to 60th～

55周年行事には、**127組 413名のお客様**にご来場いただくことができました。また、来場者アンケートでも総合的な満足度として「満足」、「まあ満足」の合計が**100%**と、ありがたい回答をいただくことができました。足をお運びいただきましたみなさん、本当にありがとうございます。

一から行事の企画を練り上げた「**若者の会**」のみなさん、本企画を全面的にバックアップいただいた**NPO法人ホールアース研究所**（富士宮市）のみなさんにも、あらためて感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

さて、富士宮地区労福協の歩みはここで止まるわけではありません。**相互扶助の精神**のもと、働く仲間がお互いに協力し助け合い、喜び合える社会の実現を目指して、60周年に向け新たな気持ちで歩みを進めてまいります。



**「富士宮地区労福協ホームページ」も是非ご覧ください！**